

まちのできごと

万が一の有事に備え

消防競技大会

6月25日、平成29年度藤里町消防競技大会が三世代交流館駐車場において開かれ、多くの町民が見守る中、団員らが日頃の訓練の成果を披露しました。

佐々木町長は「皆様には、日頃から防火について献身的な取組みをいただき感謝を申し上げます。消防団員の皆様には、地域に根ざした防火・防災のリーダーとして、地域住民の安全と郷土繁栄のためご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。」と告辞を述べました。



訓練の成果を披露

競技は、規律訓練の部と小型ポンプ操法の部が行われ、速さと正確さを競い合いました。

【競技結果】

- 《規律訓練》①第1分団 ②第4分団
 ③第3分団 ④第2分団 ⑤第5分団
 《小型ポンプ》①第4分団 ②第2分団
 ③第1分団 ④第3分団 ⑤第5分団

【小型ポンプ部門 優秀選手賞】

- 指揮者 小山 博行（米 田・第4分団）
 1番員 加藤 治門（熊の岱・第4分団）
 2番員 小山 貴博（東 坂・第2分団）
 3番員 石岡 竜一（中 町・第2分団）

【辞令交付者】

- 《採用》
 ・鈴木 幸雄（二の渡・第5分団）

社会を明るくする運動

保護司・更生保護女性会

保護司と藤里地区更生保護女性会は7月1日、第67回「社会を明るくする運動」全国強調月間の活動として役場前から先導車に続いて藤琴地区でパレードを行い、ティッシュ配りなどで運動への理解を呼びかけました。



メッセージを伝達

役場前で行われた総理大臣メッセージの伝達式で、保護司の新川泰道さんがメッセージを読み上げたほか、更生保護女性会の菅原優子会長が「藤里町を明るく町にするため、笑顔を届けるためみんな

頑張っていきたい」などとあいさつをしました。

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、毎年7月を強調月間として展開しています。

米代線を9人が力走!

白神山地ブナの森マラソン

7月2日、第4回白神山地ブナの森マラソン（主催：白神山地ブナの森マラソン実行委員会）が開催されました。

大会には、県内を中心に青森、岩手、山形、東京、大阪、奈良の各都府県から20〜70代の91名の選手が参加。坊中橋をスタートし、米代線を走り、素波里園地で折り返して白神山地世界遺産センター藤里館まで戻ってくるというアップダウンが激しい17.1キロのコースを参加者全員が完走しました。



一斉にスタート!